

明石市立知的障害児通園療育施設の管理運営状況報告(2021年度)

| | |
|-------|---------------|
| 施設所管課 | 福祉局生活支援室発達支援課 |
|-------|---------------|

1 指定管理者

- (1) 指定管理者 社会福祉法人 三田谷治療教育院
 (2) 指定期間 2017年4月1日～2022年3月31日
 (3) 管理体制 正社員22人、正社員以外17人(嘱託職員1人、パート職員16人)
 合計39人

2 評価項目

(1) 顧客満足度

①アンケート調査等の結果

＜児童発達支援センターあおぞら園利用者アンケート(9月実施)＞ (回答数30)

| 質問項目 | 2021年度 | | | | | 2020年度 | | | | |
|--------|-----------|-----|---------------|----|-----------|-----------|-----|---------------|----|-----------|
| | 非常に よい | よい | どちらとも いえない | 悪い | 非常に 悪い | 非常に よい | よい | どちらとも いえない | 悪い | 非常に 悪い |
| 職員の対応 | 93% | 7% | 0% | 0% | 0% | 77% | 23% | 0% | 0% | 0% |
| 個別支援計画 | 80% | 20% | 0% | 0% | 0% | 80% | 20% | 0% | 0% | 0% |
| 療育の内容 | 83% | 14% | 3% | 0% | 0% | 73% | 27% | 0% | 0% | 0% |
| 施設の環境 | 77% | 23% | 0% | 0% | 0% | 77% | 23% | 0% | 0% | 0% |
| 懇談の実施 | 60% | 40% | 0% | 0% | 0% | 70% | 30% | 0% | 0% | 0% |
| 年間行事開催 | 57% | 33% | 10% | 0% | 0% | 60% | 30% | 10% | 0% | 0% |
| 家族との連携 | 74% | 26% | 0% | 0% | 0% | 46% | 44% | 10% | 0% | 0% |

＜児童発達支援事業きらきら園利用者アンケート(10月実施)＞ (回答数39)

| 質問項目 | 2021年度 | | | | | 2020年度 | | | | |
|--------|-----------|-----|---------------|----|-----------|-----------|-----|---------------|----|-----------|
| | 非常に よい | よい | どちらとも いえない | 悪い | 非常に 悪い | 非常に よい | よい | どちらとも いえない | 悪い | 非常に 悪い |
| 職員の対応 | 90% | 10% | 0% | 0% | 0% | 79% | 21% | 0% | 0% | 0% |
| 個別支援計画 | 67% | 33% | 0% | 0% | 0% | 54% | 46% | 0% | 0% | 0% |
| 療育の内容 | 74% | 26% | 0% | 0% | 0% | 64% | 36% | 0% | 0% | 0% |
| 施設の環境 | 74% | 26% | 0% | 0% | 0% | 69% | 31% | 0% | 0% | 0% |
| 懇談の実施 | 56% | 38% | 6% | 0% | 0% | 46% | 46% | 8% | 0% | 0% |
| 年間行事開催 | 64% | 29% | 7% | 0% | 0% | 59% | 35% | 6% | 0% | 0% |

②利用者からの主な要望とその対応等

- ・担当の先生の変更があった場合、支援計画が引き継がれているかという声に対しては、クラス担任全員で支援計画を把握するようにしている。
- ・定例の保護者会(毎月)や保護者懇談会に施設長や児童発達支援管理責任者も出席し、苦情等に迅速に対応するシステムを構築しているほか、「意見箱」を設置して保護者から自由な

意見を言いやすい環境も作っているが、2021年度はコロナの影響で会の開催を見送ることもあり、保護者から園での園児の状況をもっと知りたいという声があった。それに対して、園のYouTubeチャンネルで動画を配信する等、開催回数不足を解消する対応を行っている。

(2) 事業達成度

①事業・業務の実施状況

| 運 営 業 務 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援センターあおぞら園は、個別支援計画に基づいた発達段階、障害特性に見合った療育を、保育士を中心に言語聴覚士、作業療法士、臨床心理士などのセラピストと連携して行い、一人ひとりの育ち、学び、暮らしにおけるニーズに対応できるよう総合的な支援に努めている。また栄養士の栄養管理のもと食育を実施し、偏食改善に効果を挙げている。 ・また、地域支援の一環としての保育所等訪問支援事業では、保護者からの要望に基づき、保育所等へ訪問して療育や支援者支援を行っている。また、相談支援事業では、児童通所サービス等の利用を申請した障害児の相談を受け、家庭訪問を実施し、サービス等利用計画の作成やサービス提供機関との調整を行っている。 ・児童発達支援事業きらきは、単独通園のほか親子療育を実施し保護者支援を充実している。 ・子どもの豊かな情緒の形成を図るため、毎月の誕生会や季節に応じた行事などを実施している。 ・子どもと家族が地域の中で当たり前のように生活していけることを目指し、市教育委員会などと連携し、就園・就学に関する相談援助を実施するとともに、認定こども園や保育所との交流保育を実施している。 ・従来の感染症予防対策に加え、事業継続計画（BCP）を作成し、感染した時の対策の強化を図っている。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|---|------|--------|------|-------------------|-------------------------|----|------|--------------------------|-----|--------|-----------------------------------|-----|-------------------|--|-----|---------------|-----------------------------------|-----|
| 維持管理業務 | <ul style="list-style-type: none"> ・遊具などは、点検表を用い、使用前後に目視点検を実施しており、軽微な損傷については職員にて修繕対応している。 ・「ヒヤリハット」を活用し、事故を未然に防ぐために、危険箇所の整備を早期に行っている。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実 施 事 業 | <p>・合計9事業を実施。主なものは以下のとおり。</p> <table border="1" data-bbox="411 1563 1436 2067"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>内容・対象者</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あおぞら親子教室 (月2回)</td> <td>療育が必要かつどの療育機関とも繋がっていない方</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>発達検査</td> <td>関係機関からの申し込みにより検査実施、結果説明等</td> <td>18名</td> </tr> <tr> <td>保護者学習会</td> <td>障害特性やこどもの発達について、家庭での関わり方等についての学習会</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>あおぞらセミナー (年2回)</td> <td>関わりにくい子どもに対して悩んでいる保護者・支援者、地域の方を対象としたセミナー</td> <td>75名</td> </tr> <tr> <td>就学・就園に向けての説明会</td> <td>就学・就園に向けて適切な情報提供をすることで保護者の不安軽減を図る</td> <td>13名</td> </tr> </tbody> </table> | 事業名 | 内容・対象者 | 参加人数 | あおぞら親子教室 (月2回) | 療育が必要かつどの療育機関とも繋がっていない方 | 2名 | 発達検査 | 関係機関からの申し込みにより検査実施、結果説明等 | 18名 | 保護者学習会 | 障害特性やこどもの発達について、家庭での関わり方等についての学習会 | 15名 | あおぞらセミナー (年2回) | 関わりにくい子どもに対して悩んでいる保護者・支援者、地域の方を対象としたセミナー | 75名 | 就学・就園に向けての説明会 | 就学・就園に向けて適切な情報提供をすることで保護者の不安軽減を図る | 13名 |
| 事業名 | 内容・対象者 | 参加人数 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| あおぞら親子教室 (月2回) | 療育が必要かつどの療育機関とも繋がっていない方 | 2名 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 発達検査 | 関係機関からの申し込みにより検査実施、結果説明等 | 18名 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保護者学習会 | 障害特性やこどもの発達について、家庭での関わり方等についての学習会 | 15名 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| あおぞらセミナー (年2回) | 関わりにくい子どもに対して悩んでいる保護者・支援者、地域の方を対象としたセミナー | 75名 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 就学・就園に向けての説明会 | 就学・就園に向けて適切な情報提供をすることで保護者の不安軽減を図る | 13名 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|---|------------|------------------------------|-----|-----------------------|--|----|------|-------------------------|-----|--------|--|--|
| | <table border="1"> <tr> <td>サポートノート講習会</td> <td>サポートノートの書き方、活用方法を保護者対象に講義を実施</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>サポーター養成講座(年1回) ZOOM開催</td> <td>地域の方を対象に障害に対する理解を促し差別や偏見をなくす社会を作ることを目的</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>動画配信</td> <td>療育に関する学習や具体的な療育内容を動画で配信</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td>きょうだい会</td> <td>障がいのある子どもの兄弟の支援を目的とした会の設立に向け、対象の方向けのイベント等の企画実施</td> <td></td> </tr> </table> | サポートノート講習会 | サポートノートの書き方、活用方法を保護者対象に講義を実施 | 13名 | サポーター養成講座(年1回) ZOOM開催 | 地域の方を対象に障害に対する理解を促し差別や偏見をなくす社会を作ることを目的 | 5名 | 動画配信 | 療育に関する学習や具体的な療育内容を動画で配信 | 15件 | きょうだい会 | 障がいのある子どもの兄弟の支援を目的とした会の設立に向け、対象の方向けのイベント等の企画実施 | |
| サポートノート講習会 | サポートノートの書き方、活用方法を保護者対象に講義を実施 | 13名 | | | | | | | | | | | |
| サポーター養成講座(年1回) ZOOM開催 | 地域の方を対象に障害に対する理解を促し差別や偏見をなくす社会を作ることを目的 | 5名 | | | | | | | | | | | |
| 動画配信 | 療育に関する学習や具体的な療育内容を動画で配信 | 15件 | | | | | | | | | | | |
| きょうだい会 | 障がいのある子どもの兄弟の支援を目的とした会の設立に向け、対象の方向けのイベント等の企画実施 | | | | | | | | | | | | |
| その他業務 | <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやパンフレット、園のお便りで地域や保護者に情報を提供している。 ・個人情報の取り扱いについては保護者の了解を得るとともに、職員に対しても目的外使用しないなど守秘義務を徹底している。 ・防犯・防災については、マニュアルを作成し、不審者の侵入防止などに努めるとともに、単独またはふれあいプラザあかし西と合同で避難訓練や消火訓練を実施している。また、職員にヒヤリハット報告を義務付け事故防止意識の向上を図っている。 ・虐待防止については、障害者虐待防止の研修に積極的に参加するなど職員の意識向上を図り、日ごろから子どもの状態に細心の注意を払い、虐待の可能性には早期に対処できるよう努めている。 | | | | | | | | | | | | |

②施設等の利用状況

<児童発達支援センターあおぞら園の利用状況>

(通園施設あおぞら園の利用状況)

| 実施状況(実績) | 2021年度 | 2020年度 | 2019年度 |
|-------------|--------|--------|--------|
| 利用者数(延べ) | 6,503人 | 6,637人 | 6,319人 |
| 契約件数(定員30人) | 30人 | 30人 | 30人 |

(保育所等訪問支援事業の利用状況)

| 実施状況(実績) | 2021年度 | 2020年度 | 2019年度 |
|----------|--------|--------|--------|
| 訪問件数 | 24件 | 43件 | 71件 |

(相談支援事業の利用状況)

| 実施状況(実績) | 2021年度 | 2020年度 | 2019年度 |
|----------|--------|--------|--------|
| 利用件数 | 490件 | 499件 | 475件 |

<児童発達支援事業さらきらの利用状況>

| 実施状況(実績) | 2021年度 | 2020年度 | 2019年度 |
|----------|--------|--------|--------|
| 利用者数(延べ) | 1,779人 | 2,027人 | 1,995人 |
| 契約件数 | 47人 | 46人 | 46人 |

(3) 事業収支

①収支状況

(単位：千円)

| 項目 | | 2021年度 | 2020年度 | 2019年度 |
|----------------|---------------------------|----------------|----------------|----------------|
| 収入合計(A) | | 186,593 | 181,214 | 169,252 |
| 内訳 | 指定管理料 | 34,350 | 32,850 | 32,850 |
| | 利用料収入 | 143,369 | 135,344 | 129,892 |
| | 実施事業収入 | 54 | 224 | 110 |
| | 精算返戻金 | △107 | △238 | △628 |
| | その他収入 | 8,927 | 13,034 | 7,028 |
| 支出合計(B) | | 173,213 | 167,935 | 158,307 |
| 内訳 | 人件費 | 130,650 | 126,584 | 122,669 |
| | 管理費 (事務費、物件費、一般管理費を含む) | 39,056 | 38,171 | 32,234 |
| | 負担金 | 543 | 316 | 460 |
| | 実施事業費 | 2,953 | 2,808 | 2,874 |
| | その他支出 | 11 | 56 | 71 |
| 収支(A-B) | | 13,380 | 13,279 | 10,944 |

②市の使用料等の収入状況

(単位：千円)

| 項目 | 2021年度 | 2020年度 | 2019年度 |
|--------------------|---------|---------|---------|
| ・利用料収入 | 143,369 | 135,344 | 129,892 |
| 児童発達支援センターあおぞら利用収入 | 103,505 | 93,616 | 88,388 |
| 保育所等訪問支援事業利用収入 | 422 | 832 | 1,357 |
| 相談支援事業利用収入 | 9,255 | 9,072 | 8,283 |
| 児童発達支援事業きらきら利用収入 | 27,584 | 29,404 | 27,886 |
| 利用者負担金収入 | 2,603 | 2,420 | 3,978 |
| ・指定事業収入 | 54 | 224 | 110 |
| ・その他収入 | 227 | 2,657 | 320 |

3 その他評価の参考となる特記事項

- ① 明石市地域自立支援協議会こども部会の中心を担い、療育のアドバイスを積極的に行うなど、明石市の通所事業所のネットワーク構築や地域住民への啓発に努めている。
- ② 職員研修では、新人職員、または全職員を対象とした内部研修を19回実施するとともに、外部研修については、コロナ禍により、出張を伴う遠方のものには参加せず、ほとんどがオンライン研修となったが、24回研修に参加し、専門性の向上と人材育成を図っている。

4 所管課総合評価

コロナ禍により事業実施において様々な制約等がある中、自主事業において自閉症の方にピアノ演奏をしていただく試み等、創意工夫を凝らしており、利用者アンケート等の利用者満足度において良好な結果が得られていると推察できる。

事業達成度でも、利用者ニーズに対応した療育が行われるなど、概ね事業計画どおり適正に実施されている。

職員研修や関係機関との連携、情報交換なども適正に実施されている。

以上のことから、2021年度において、指定管理者による適正な管理運営がなされていると判断する。

今後とも、市の責任において適正かつ必要な指導、監督に努め、一層のサービス向上のため、良好な管理・運営の継続と、子どもに対する有効な療育などの取り組みを求めていく。